

<VI 展示研究報告(1)>

令和2年度第8回企画展

「収蔵品－30歳になりました！」・「収蔵品－30歳になりました！Part2」

川本 利恵*

はじめに

令和2(2020)年6月1日(月)から7月31日(金)の期間、企画展「収蔵品－30歳になりました！」を、9月23日(水)から10月23日(金)の期間、企画展「収蔵品－30歳になりました！Part2」(以下、「Part2」という。)を開催した。今年度は当館が開館して30周年を迎えたこともあり、記念の企画展とした。

昨年度に引き続き今回も、8月までに開催されるオープンキャンパスのために、前回開催した「学生成果展」から、引きついだ作品とともに、過去に展示して好評だった資料を選定してまとめることにした。

例年、9月には、光塩会(東京家政学院大学同窓会)との共催展を開催していたが、コロナ禍のおり、出展者が作品制作や搬入、展示作業で外出することがはばかられるため中止となった。そこで、急遽「Part2」として展開することにし、学生の作品等は返却し、空いた部分を収蔵資料で構成した。

1. テーマの決定

例年、5月から8月にかけての企画は収蔵資料を中心に構成しているが、上記のように来校する高校生に見てもらえるよう、「学生成果展」の中から、延長してもよいとの了解を得た染色品や建築模型、創作オブジェ、バッグ、拓本、クッションを引き続き展示することに決まった。それ以外で展示ケース1台から2台分にまとまる程度の資料と点数を選定することにした。

開館30周年記念と銘打ったこともあり、「収蔵品－30歳になりました！」とタイトルを付けた。

2. 展示構成

タイトルから、30年を振り返るといったイメージがあり、学生作品に関連付けるために、過去の学生作品展を写真パネルにして展示することにした。それ以外の展示資料は、料理標本を本膳料理と単品で計

16点、工芸品の中から、こけしの製作工程と木地玩具を含めて17点、漆器の椀と弁当箱類が11点、曲げ物の弁当箱類が9点、銅鏡が9点、両替天秤1点を選んだ。

Part2では、学生作品をすべて返却し、空いた展示ケースに、インド更紗4点、和更紗15点、中野土人形9点、アクセサリ31点を選んだ。

3. 印刷物

A4判ポスター(写真1、2)を作成し、その裏面に資料リストを印刷した。リストはエクセルデータで作成しているが、2段組でうまくセル幅を合わせられない部分があったため、今回は一部リストを別に作成し、それぞれを印刷後、貼り合わせて1枚にした。Part2は、1ページに納めることができた。

ポスターは大判コピー機でA1判大に印刷し、入口の扉やボードに貼り、A4・A3判で印刷したものを校内の掲示板に貼って学内者へ向けての広報とした。



写真1 ポスター

*川本 利恵(かわもと りえ) 令和2年度生活文化博物館学芸員



写真2 ポスター その2

4. 展示作業

当館には、全体がガラス張りの「大ケース」と、大ケースの高さ半分あたりから上部がガラス張りの「中ケース」、上からのぞき見る高さの「のぞきケース」、中ケースの幅半分の大きさの「柱ケース」と称する通常4種類の展示ケースがあり、それぞれに資料を振り分けていく。

入口を歩いて窓側に向かう壁際の中ケース2台に建築模型(写真3)を入れ、窓側に沿って中ケース4台と柱ケースを並べ、それぞれに染色ストールと、創作オブジェ、創作バッグ(写真4)、拓本(写真5)、和鏡と見本として教員が作成した拓本を入れた。そこから直角に大ケース、柱ケース、さらに大ケース1台を並べ、先の2ケースには単品の料理標本を入れ、3台目の大ケースには料理標本を使って本膳料理(写真6)の形式を再現した。またそこから直角に中ケースに漆器類を入れ、続けて大ケースに曲げ物(写真7)を入れ、続いて柱ケースに両替天秤を入れ、最後の中ケースに銅鏡(写真8)を入れた。その向かいの壁面には、本学創立期の写真パネルを貼った。

次に展示室中央にのぞきケースを2台ずつで島をつくり、一つの島にはクッションを入れ、もう一つの島にはこけしの製作工程と木のおもちゃを入れた。さらにガラスのないオープンケースを置き、そこにもおもちゃを置いて体験コーナー(写真9)として、実際に遊べるようにした。その向かいの壁面には、過去の学生作品展の写真パネル(写真10)を貼った。



写真3 建築模型



写真4 創作バッグ



写真5 拓本



写真6 本膳料理



写真7 曲げ物

Part2では、学生の作品を返却し、建築模型が入っていた中ケースにはインド更紗を入れ、ストールが入っていた中ケースは撤去して、次の特別展の資料を置く展示台を作り、その前に2枚のボードを置いて目隠しし、ボードにはインド更紗の染色工程のパネルを貼った。オブジェとバッグの入っていた中ケースには和更紗を入れ、拓本の入っていた中ケースと柱ケースには、公開していなかった新収蔵資料の中野土人形(写真11)を入れた。中央のクッションが入っていたのぞきケースには、南アジア地域のアクセサリ(写真12)を入れた。



写真8 銅鏡



写真11 中野土人形



写真9 体験コーナー



写真12 アクセサリー



写真10 学生作品展の写真パネル

おわりに

昨年と同様に、学生成果展から作品を引き続き展示して目に触れる機会を多くしようと考えたのだが、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）感染拡大防止のため、学生たちは、オンライン授業となり、オープンキャンパスもオンラインで行うなど、見学者は極端に少なくなった。学外へ向けては、事前予約の上での来館としたが、やはり外出を控える傾向にあるのか来館者は数十人といった状況だった。

他の博物館・美術館も三密を防ぐ施策を考えるなど、

これまでの方法からの変更を余儀なくされた。手で触れる展示の見直しもされており、当館の体験コーナーでは、おもちゃを手にとって遊んでもらうため、取りやめにした方がよいのかと考えたが、その都度除菌ティッシュを使って除菌することにして継続した。

今回、宣言が解除されれば、一挙に元通りになると楽観視していたが、感染症が治まるのに3年間かかるという噂もある。これからは、それを踏まえて企画を考えていかななくてはならない。

展示資料リスト

番号	タイトル	年 代	大きさ (cm)	地域・作者
1	「HACHIOJI FOREST II ～緑に囲まれた駅ビル～」	令和2年(2020)		生活デザイン学科 4年 杉本 優莉愛
2	「SHIBAHIRO SQUARE ～町田市 シバヒロに建つ集合住宅～」	令和2年(2020)		生活デザイン学科 4年 早川 真奈
3	友禅染ストール	令和2年(2020)		生活デザイン学科 4年 小林 莉和
4	世界にひとつの「気になる樹」	令和2年(2020)		児童学科1年次受講生一同
5	春の光や風を閉じ込めた 「春のおでかけバッグ」	令和2年(2020)		児童学科1年次受講生一同
6	「東京家政学院発祥の地」碑 拓本	令和元年(2019)		生活デザイン学科 4年 川畑 友華理 4年 山本 梨恵子 4年 横田 茉緒
7	亀鈕双鶴鏡	江戸時代		生活文化博物館蔵
8	亀鈕双鶴鏡 拓本	令和元年(2019)		現代家政学科准教授 石垣 悟
9	企業連携授業 スターバックスコーヒー 飯田橋サクラテラス店 「クッション」	平成27年(2015)		現代家政学科受講生
10	企業連携授業 スターバックスコーヒー 飯田橋サクラテラス店 「クッション」	平成27年(2015)		現代家政学科受講生
11	企業連携授業 スターバックスコーヒー 飯田橋サクラテラス店 「クッション」	平成27年(2015)		現代家政学科受講生
12	企業連携授業 スターバックスコーヒー 飯田橋サクラテラス店 「クッション」	平成27年(2015)		現代家政学科受講生
13	企業連携授業 スターバックスコーヒー 京都二寧坂ヤサカ茶屋店 「クッション」	平成29年(2017)		現代家政学科受講生
14	企業連携授業 スターバックスコーヒー 京都二寧坂ヤサカ茶屋店 「クッション」	平成29年(2017)		現代家政学科受講生
15	企業連携授業 スターバックスコーヒー 神戸メリケンパーク店 「クッション」	平成28年(2016)		現代家政学科受講生
16	企業連携授業 スターバックスコーヒー 神戸メリケンパーク店 「クッション」	平成28年(2016)		現代家政学科受講生
17	企業連携授業 スターバックスコーヒー 神戸メリケンパーク店 「クッション」	平成28年(2016)		現代家政学科受講生

番号	タイトル	年 代	大きさ (cm)	地域・作者
18	鳴子こけし制作工程標本	平成13年(2001)		宮城県大沼秀雄
19	けん玉	平成13年(2001)	9.3×24.0	宮城県
20	ケン玉	平成13年(2001)	10.0×26.0	山形県
21	へっついどろぼう	平成13年(2001)	径11.8×12.5	宮城県
22	木地ダルマ	平成13年(2001)	径10.5×12.0	宮城県
23	姫ダルマ	平成13年(2001)	径9.5×7.0	宮城県
24	とら	平成13年(2001)	15.5×8.5	宮城県
25	えび	平成13年(2001)	19.0×5.5	宮城県
26	汽車	平成13年(2001)	22.0×17.0	宮城県
27	輪抜きだるま	平成13年(2001)	径6.1×25.0	山形県
28	輪投げ	平成13年(2001)	径10.5×21.0	山形県
29	ヨーヨー	平成13年(2001)	径6.2×3.5	山形県
30	ヨーヨー	平成13年(2001)	径8.8×5.6	山形県
31	茶道具	平成13年(2001)	径12.0×7.0	宮城県
32	ウスとキネ	平成13年(2001)	径7.3×7.5	宮城県
33	投げ独楽 2.5寸	平成13年(2001)	径6.0×5.5	山形県
34	投げ独楽 4.0寸	平成13年(2001)	径11.8×15.5	山形県
35	投げ独楽 3.0寸	平成13年(2001)	径8.8×10.0	山形県
36	鯛の香物鮓	平成23年(2011)	径21.0×4.8	
37	叩き豆腐	平成24年(2012)	径15.5×4.6	
38	狸汁	平成23年(2011)	径11.1×9.9	
39	すずへいも	平成23年(2011)	径11.4×6.0	
40	長崎烏田楽	平成24年(2012)	径19.0×3.0	
41	煎りだし蓮根	平成24年(2012)	径16.8×9.2	
42	鋤焼	平成22年(2010)	4.0×24.0×18.0	
43	白飯	平成23年(2011)	径12.3×6.2	
44	みそ汁	平成23年(2011)	径11.5×5.0	
45	奈良漬	平成22年(2010)	径8.9×2.0	
46	蒟蒻煎りだし	平成22年(2010)	径9.5×6.4	
47	阿蘭陀なます	平成22年(2010)	径13.5×6.0	
48	墨染豆腐	平成24年(2012)	径10.9×7.0	
49	炊き合わせ	平成23年(2011)	径13.4×9.1	
50	鯛の刺身・煎り酒	平成23年(2011)	径13.7×4.7・径7.2×2.5	
51	すずめ焼き	平成23年(2011)	3.0×22.0×14.5	
52	紋入り盃	平成2年(1990)	径13.0×11.0	
53	紋入り屠蘇器	平成2年(1990)	径11.0×16.0	
54	芹文飯椀	平成2年(1990)	径13.0×10.0	
55	芹文汁椀	平成2年(1990)	径13.0×7.0	
56	塗り分根来椀	平成2年(1990)	径12.0×10.5	
57	糸目溜め塗蕎麦椀	平成2年(1990)	径14.0×11.0	
58	蜆椀	平成2年(1990)	径11.0×8.0	
59	七宝蒔絵弁当	平成2年(1990)	径24.5×6.5	
60	棗弁当	平成2年(1990)	径11.0×12.0	
61	溜め瓢弁当	平成2年(1990)	径12.0×13.0	
62	金輪寺弁当	平成2年(1990)	径11.5×11.0	
63	小判弁当箱	平成6年(1994)	6.0×21.0×13.0	秋田県大館市
64	曲木弁当箱	平成6年(1994)	径22.0×6.0	秋田県大館市
65	深蓋弁当箱	平成6年(1994)	径13.0×10.0	秋田県大館市
66	水次	平成6年(1994)	16.0×28.0×14.5	秋田県大館市

番号	タイトル	年 代	大きさ (cm)	地域・作者
67	湯桶	平成6年(1994)	27.0×30.0×27.5	秋田県大館市
68	弁当箱(中)	平成6年(1994)	7.0×16.0×9.0	群馬県六合村(現中之条町)
69	弁当箱(小)	平成6年(1994)	6.0×15.0×8.5	群馬県六合村(現中之条町)
70	弁当箱(大)	平成6年(1994)	7.0×18.0×10.0	群馬県六合村(現中之条町)
71	小判弁当箱	平成6年(1994)	13.0×20.0×6.0	岐阜県坂下町(現中津川市坂下)
72	両替天秤	江戸時代	25.0×71.0×74.0	
73	分銅	江戸時代		
74	星雲鏡	前漢時代(前3～1世紀)	径10.0×1.5	中国
75	四山鏡	戦国時代(前3世紀)	径9.5×0.5	中国
76	方格規矩鏡	漢～晋時代(前1～後4世紀)	径19.0×2.0	中国
77	内行花文清白鏡	前漢時代(前3～後1世紀)	径18.5×2.0	中国
78	龍虎鏡	後漢～晋時代(3～4世紀)	径12.0×2.0	中国
79	画文帯神獸鏡	三国時代(3世紀)	径16.0×2.0	中国
80	瑞花双鳳八稜鏡	唐時代(7～9世紀)	径10.0×1.0	中国
81	海獸葡萄鏡	隋～唐時代(6～9世紀)	径15.5×1.5	中国
82	鴛鴦鏡	平安時代(9～12世紀)	径12.0×1.0	日本

展示資料リスト (Part2)

番号	タイトル	年 代	大きさ (cm)	地域・作者
1	インド更紗	19世紀	162.0×79.0	インド産
2	インド更紗	20世紀初頭	160.0×84.0	インド産
3	インド更紗	20世紀初頭	160.0×80.0	インド産
4	インド更紗	19世紀～20世紀初頭	276.0×108.0	インド産
5	インド更紗	20世紀初頭	256.0×101.0	インド産
6	和更紗	江戸期	67.0×67.0	長崎(長崎県)産
7	和更紗	明治期	168.0×33.0	長崎(長崎県)産
8	和更紗	明治期	44.0×34.0	堺(大阪府)産
9	和更紗	明治期	157.0×35.0	堺(大阪府)産
10	和更紗	明治期	175.0×35.0	堺(大阪府)産
11	和更紗	江戸期	140.0×28.0	庄内(山形県)産
12	和更紗	明治期	49.0×32.0	庄内(山形県)産
13	和更紗	明治期	48.0×33.0	京都(京都府)産
14	和更紗	明治期	59.0×33.0	京都(京都府)産
15	和更紗	江戸期	65.0×33.0	産地不明
16	和更紗	明治時代中期	79.0×34.0	産地不明
17	和更紗	江戸時代幕末	146.0×35.0	京都(京都府)産
18	和更紗	明治時代中期	79.0×34.0	産地不明
19	和更紗	明治末期	73.0×46.0	産地不明
20	和更紗	明治～大正時代	195.0×100.0	産地不明
21	子守	平成27年(2015)	36.8×17.0×12.8	奈良由紀夫
22	福助	平成27年(2015)	28.1×25.8×14.8	奈良由紀夫
23	抱き熊金太郎	平成27年(2015)	30.5×27.8×13.1	奈良由紀夫
24	天神様	平成27年(2015)	21.0×18.5×9.3	奈良由紀夫
25	1年生	平成27年(2015)	男の子:11.8×6.0×6.9、 女の子:11.5×6.0×6.3	奈良由紀夫
26	桃持ち親子猿	平成27年(2015)	9.4×7.0×7.1	奈良由紀夫
27	温泉猿	平成27年(2015)	9.5×19.6×16.5	奈良由紀夫
28	こたつ猫	平成27年(2015)	4.0×10.4×11.1	奈良由紀夫

番号	タイトル	年 代	大きさ (cm)	地域・作者
29	寝牛	平成27年(2015)	17.0×47.5×20.5	奈良由紀夫
30	首飾り	年不詳	40.0×5.0×2.0	バブアニューギニア
31	首飾り	昭和39(1964)年	40.0×6.5×7.5	ネパール
32	首飾り	昭和39(1964)年	58.0×17.0×1.5	ネパール
33	首飾り	昭和39(1964)年	68.0×8.5×1.0	ネパール
34	首飾り	昭和39(1964)年	70.0×20.0×2.0	ネパール
35	首飾り	昭和39(1964)年	33.0×4.5×2.0	ネパール
36	首飾り	昭和39(1964)年	40.0×6.5×7.5	ネパール
37	首飾り	昭和39(1964)年	17.0×6.5×1.0	ネパール
38	腕輪	昭和39(1964)年	径6.0×3.8	バングラデシュ
39	腕輪	昭和43(1968)年	径6.2×4.5	パキスタン
40	腕輪	昭和39(1964)年	径6.0×3.0	インド
41	耳飾り	昭和39(1964)年	3.5×2.5×1.8	ネパール
42	髪飾り	年不詳	7.6×2.2×6.8	産地不明
43	耳飾り	昭和39(1964)年	9.0×6.0×1.5	パキスタン
44	耳飾り	昭和43(1968)年	9.4×6.0×1.5	パキスタン
45	ペンダントトップ	昭和39(1964)年	径5.5×1.2	ネパール
46	ペンダントトップ	昭和39(1964)年	7.5×2.3×1.5	ネパール
47	ペンダントトップ	昭和39(1964)年	8.5×8.5×1.5	ネパール
48	指輪	昭和39(1964)年	径2.5×1.0	バングラデシュ
49	指輪	昭和43(1968)年	径2.0×2.6	パキスタン
50	指輪	昭和39(1964)年	5.0×2.8×1.8	ネパール
51	指輪	昭和39(1964)年	3.5×2.5×3.0	ネパール
52	指輪	昭和39(1964)年	径2.2×3.0	ネパール
53	指輪	昭和39(1964)年	3.0×2.5×2.2	ネパール
54	指輪	昭和39(1964)年	3.0×2.5×2.0	ネパール
55	足の指輪	昭和39(1964)年	4.6×7.0×4.5	チベット
56	足輪	昭和39(1964)年	径11.0×1.0	インド
57	足輪	昭和39(1964)年	径6.0×0.5	カンボジア
58	腕輪	昭和39(1964)年	径7.3×0.4	インド
59	腕輪	昭和39(1964)年	径6.0×0.4	インド
60	腕輪	昭和39(1964)年	径5.5×0.4	インド
61	鳴子こけし制作工程標本	平成13年(2001)		宮城県・大沼秀雄
62	けん玉	平成13年(2001)	9.3×24.0	宮城県
63	ケン玉	平成13年(2001)	10.0×26.0	山形県
64	へっついどろぼう	平成13年(2001)	径11.8×12.5	宮城県
65	木地ダルマ	平成13年(2001)	径10.5×12.0	宮城県
66	姫ダルマ	平成13年(2001)	径9.5×7.0	宮城県
67	とら	平成13年(2001)	15.5×8.5	宮城県
68	えび	平成13年(2001)	19.0×5.5	宮城県
69	汽車	平成13年(2001)	22.0×17.0	宮城県
70	輪抜きだるま	平成13年(2001)	径6.1×25.0	山形県
71	輪投げ	平成13年(2001)	径10.5×21.0	山形県
72	ヨーヨー	平成13年(2001)	径6.2×3.5	山形県
73	ヨーヨー	平成13年(2001)	径8.8×5.6	山形県
74	茶道具	平成13年(2001)	径12.0×7.0	宮城県
75	ウスとキネ	平成13年(2001)	径7.3×7.5	宮城県
76	投げ独楽 2.5寸	平成13年(2001)	径6.0×5.5	山形県
77	投げ独楽 4.0寸	平成13年(2001)	径11.8×15.5	山形県

番号	タイトル	年 代	大きさ (cm)	地域・作者
78	投げ独楽 3.0寸	平成13年(2001)	径8.8×10.0	山形県
79	鯛の香物鮓	平成23年(2011)	径21.0×4.8	
80	叩き豆腐	平成24年(2012)	径15.5×4.6	
81	狸汁	平成23年(2011)	径11.1×9.9	
82	すずへいも	平成23年(2011)	径11.4×6.0	
83	長崎烏田楽	平成24年(2012)	径19.0×3.0	
84	煎りだし蓮根	平成24年(2012)	径16.8×9.2	
85	鋤焼	平成22年(2010)	4.0×24.0×18.0	
86	白飯	平成23年(2011)	径12.3×6.2	
87	みそ汁	平成23年(2011)	径11.5×5.0	
88	奈良漬	平成22年(2010)	径8.9×2.0	
89	蒟蒻煎りだし	平成22年(2010)	径9.5×6.4	
90	阿蘭陀なます	平成22年(2010)	径13.5×6.0	
91	烏団子汁	平成22年(2010)	径11.5×5.0	
92	炊き合わせ	平成23年(2011)	径13.4×9.1	
93	鯛の刺身・煎り酒	平成23年(2011)	径13.7×4.7・径7.2×2.5	
94	すずめ焼き	平成23年(2011)	3.0×22.0×14.5	
95	紋入り盃	平成2年(1990)	径13.0×11.0	
96	紋入り屠蘇器	平成2年(1990)	径11.0×16.0	
97	芹文飯椀	平成2年(1990)	径13.0×10.0	
98	芹文汁椀	平成2年(1990)	径13.0×7.0	
99	塗り分根来椀	平成2年(1990)	径12.0×10.5	
100	糸目溜め塗蕎麦椀	平成2年(1990)	径14.0×11.0	
101	蜆椀	平成2年(1990)	径11.0×8.0	
102	七宝蒔絵弁当	平成2年(1990)	径24.5×6.5	
103	棗弁当	平成2年(1990)	径11.0×12.0	
104	溜め瓢弁当	平成2年(1990)	径12.0×13.0	
105	金輪寺弁当	平成2年(1990)	径11.5×11.0	
106	小判弁当箱	平成6年(1994)	6.0×21.0×13.0	秋田県大館市
107	曲木弁当箱	平成6年(1994)	径22.0×6.0	秋田県大館市
108	深蓋弁当箱	平成6年(1994)	径13.0×10.0	秋田県大館市
109	水次	平成6年(1994)	16.0×28.0×14.5	秋田県大館市
110	湯桶	平成6年(1994)	27.0×30.0×27.5	秋田県大館市
111	弁当箱(中)	平成6年(1994)	7.0×16.0×9.0	群馬県六合村(現中之条町)
112	弁当箱(小)	平成6年(1994)	6.0×15.0×8.5	群馬県六合村(現中之条町)
113	弁当箱(大)	平成6年(1994)	7.0×18.0×10.0	群馬県六合村(現中之条町)
114	小判弁当箱	平成6年(1994)	13.0×20.0×6.0	岐阜県坂下町(現中津川市坂下)
115	両替天秤	江戸時代	25.0×71.0×74.0	
116	分銅	江戸時代		
117	星雲鏡	前漢時代(前3～1世紀)	径10.0×1.5	中国
118	四山鏡	戦国時代(前3世紀)	径9.5×0.5	中国
119	方格規矩鏡	漢～晋時代(前1～後4世紀)	径19.0×2.0	中国
120	内行花文清白鏡	前漢時代(前3～後1世紀)	径18.5×2.0	中国
121	龍虎鏡	後漢～晋時代(3～4世紀)	径12.0×2.0	中国
122	画文帯神獸鏡	三国時代(3世紀)	径16.0×2.0	中国
123	瑞花双鳳八稜鏡	唐時代(7～9世紀)	径10.0×1.0	中国
124	海獸葡萄鏡	隋～唐時代(6～9世紀)	径15.5×1.5	中国
125	鴛鴦鏡	平安時代(9～12世紀)	径12.0×1.0	日本